

協調的な学習とAI（実習の進捗発表（ジュニア（大学1～3年生），新規発表））

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-08-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 酒井, 友理子, 佐竹, 勇哉, 高橋, 徹郎, Yang, Fan メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10297/00028305

協調的な学習と AI

酒井友理子（静岡大学情報学部情報社会学科）、
佐竹勇哉（静岡大学情報学部行動情報学科）、
高橋徹郎（静岡大学情報学部情報科学科）、
YANG FAN（静岡大学情報学部情報科学科）

近年、AI を利用したデータ分析が活発になっている。それに伴い、AI を教育へ利用する動きも増えている（河原ら, 2013）。私たちは AI と教育の関係性に着目し、協調的な学習と AI がどう関わるようになるか、その 10 年後について文献調査をもとに推測する。

文献調査により、児童の協調的な学習を支援するソフトが開発されていることが分かった（八代ら, 2019）。児童の使用するタブレットより閲覧情報のデータベースを構築し、児童の目標の達成度を予測することで、教育者がより的確な指導を行えるようにするというシステムである。このシステムを教育に取り入れるには、AI の達成度予測の精度が重要となる。今後 AI による予測精度が向上し、より協調的な学習による学習効果が高まると、AI による協調学習はより普及し学習を効率化すると推測する。

<関連実習科目>

PBL 演習